

お祝いの言葉

総務省行政評価局長

讃岐 建



ご紹介いただきました行政評価局長の讃岐建です。

本日は、全国行政相談委員連合協議会設立50周年記念式典にお招きいただきありがとうございます。また、50周年まことに改めてありがとうございます。

全相協は、昭和36年の行政相談委員制度の発足以来、各地域での相談委員の間での連携を図るため、任意の団体として徐々に自然と結成された今の地相協の前身の各団体が、全国レベルで連携を深めていくなかで、自発的に設立されたものであると記録されています。

その後、組織としての基盤を整備するため、諸先輩のご努力により法人格を得るにいたりました。さらに、新公益法人制度施行後において、全相協は、「公益社団法人」として、その活動の「公益性」が認定され

ました。すなわち、行政相談委員一人一人の活動を高めるといふ全相協の活動こそが、単に行政相談委員の利益になるにとどまらず、そうした相談委員の活動の向上を通じて、広く社会全体の福祉向上という効果をもたらすものであるという意義が、国において、あるいは社会において理解されている、ということなのです。この公益法人化に当たっては、当時の全相協幹部を始め関係者の多大のご努力があったもので、深い敬意を表したいと思います。

さて、今日、総務省の行政相談の活動を支え協働し、相談活動の活性化を図る媒介として、全相協は、

- ・ 分かりやすい事例集の作成などによる相談のノウハウの向上や、具体的事例を活用した効果的な広報の支援
- ・ 災害時の行政相談委員の臨機応変の活動への支援はもとより、地域を超えた

- 委員同士の助け合いや援助
- ・ 各地で行われている「出前教室」実施のための教材やノウハウの提供
- ・ アジア各国を中心としてオンブズマン国際交流への参画
- など、時どきの課題・ニーズに応じた意義のある活動に積極的に取り組んでおられます。

全相協の多面にわたる活動は、行政相談の活動を高め、いくうえで必要不可欠なものであるという認識を、行政評価局としてもますます強めているところです。

最後に、われわれ総務省行政評価局として、今後とも全相協と全国の行政相談委員の活動を全力でサポートしていくことをお誓いし、また、ますますのご発展を心から祈念して、50周年における私からのご挨拶といたします。本当におめでとうございます。